

\*\*\* 日本プレイセラピー協会主催 \*\*\*

## プレイセラピー基礎講座シリーズ 子ども中心プレイセラピーの実践

日本プレイセラピー協会の基礎講座は、プレイセラピーを現在学んでいる方、すでに実践されている専門家の方々が、さらにプレイセラピーの知識や技術を研鑽できるような機会を提供することを目的としています。これまでに、子どもの問題に応じて遊びを処方するプリスク립ティブプレイセラピー（prescriptive play therapy）の考え方や技法の組み立て方、フィリアルセラピーの一つである CPRT、さらに子ども中心プレイセラピー（CCPT）の基礎理論と技法について、基礎的な講義と少人数でのロールプレイなどの演習によって体験的に学んできました。

第4回目の今回は、アックスラインの流れを汲む、ランドレス博士のもとで子ども中心プレイセラピーの訓練を受け、現在アメリカで、プレイセラピストとしてご活躍中の、ファリス小川裕美子先生をお招きし、前回に続き、子ども中心プレイセラピーの基礎理論のさらなる実践について学びます。子ども中心プレイセラピーの理論・スキルを臨床現場においてどのように適用するのか、プレイセラピー過程についての理解、プレイセラピストが出会う様々な問題、グループプレイセラピー、親とのかかわりなどについて、講義とロールプレイなどの体験演習によって学びます。前回の基礎講座に不参加の方も、CCPT理論の大事なポイントのおさらいを行いますので、今回だけでも十分ご参加いただけます。

### CCPTとは

CCPT (Child-Centered Play Therapy: 子ども中心プレイセラピー) は、カールロジャースの生徒、そしてその後同僚となったアックスラインが、1940年代にパーソンセンタード理論を子どものセラピーに適用することによって生まれた、臨床家の中でも最も馴染みのある人間学的 (Humanistic) プレイセラピー理論の一つです。この理論の焦点は、子どもの潜在能力と自己治癒能力を最大限に引き出せるような環境と人間関係を形成していくことにあります。そしてまた「遊びは子どもの言語、おもちゃは子どもの言葉」という表現が端的に示唆するように、遊びを通して子どもが自分の考えや気持ち、体験や希望を表現できる場を提供します。一方でCCPTは「非指示的療法」の代表的アプローチという位置づけから、子どもと単に遊ぶことが治療につながるという誤解が多くもたれる理論でもありますが、この理論に基づいたスキル(感情の反映、トラッキング、制限設定、遊びの意味に触れる / 遊びの理解を促す応答 (enlarging the meaning) など)や、遊びのテーマ、プレイセラピー過程の検討、プレイセラピー用のおもちゃの選定など、実際にCCPTを行う上で必要な知識、スキルの有無は、セラピーの効果に大きな影響をあたえます。現在注目を浴びている親トレーニングの一つである、Child-Parent Relationship Training (CPRT)は、CCPTのスキル、理論を親と共有することを目的としているため、その知識、経験無しで行うことは不可能です。CCPTの効果についての研究は今までに多くなされており、様々な問題、そして様々な対象者に対して効果があることが実証されているアプローチです。

また、遊びを通した子どもの表現を重視するプレイセラピーであれば、ほとんどの理論アプローチにとって、基本的かつ重要な考え方やスキルを、CCPTから学ぶことができます。

**日程** 2011年3月26日(土曜日)・27日(日曜日)両日ともに10時から5時

**内容**

1. CCPT スキルの復習
2. CCPT の過程 (初回から終結まで)
3. プレイセラピーにおける遊びのテーマについて
4. プレイセラピストがセラピー中に直面する典型的な問題
5. 親面接
6. グループプレイセラピー
7. プレイセラピスト
8. プレイセラピースーパービジョン
9. プレイセラピーに於ける倫理的問題
10. CCPT のリサーチ

\* 講義では実際のセッションのテープもお見せするので、守秘義務が守られる方の参加を義務とします。

**会場** 東京都内会場

**参加費** 20,000円 **定員** 30名

**対象** 心理・教育・保育・医療・看護・福祉の大学院在学以上、  
または、プレイセラピー実施経験のある方。

\*この講座は、**入門的な基礎知識がある方のための応用的な理論を紹介する講座**です。ご参加の皆さんの経験や知識にばらつきがあることを少しでも解消し、皆さんの学びがより深まるために、以下の課題図書を講座の日までにお読みいただくことを課題といたします。

課題図書:

- 1) Garry L. Landreth 著「Play therapy : the art of the relationship」Brunner-Routledge  
(日本語訳 グリー L. ランドレス著「プレイセラピー:関係性の営み」日本評論社)

推薦図書:

- 1) Axline, V. (1964). Play Therapy. New York: Ballantine Books.
- 2) Axline, V. (1964). Debs In search of self. New York: Ballantine Books
- 3) Girodano, M., Landreth, G., & Jones, L. (2005). A practical handbook for building the play therapy relationship. New York: Jason Aronson.
- 4) Schaefer, C. E. (Ed.). (2003). Foundation of play therapy. New Jersey. John Wiley & Sons

## 講師紹介

ファリス小川裕美子先生

日本で心理学科修士課程を終了後、都内の教育相談所にて教育相談員として勤務。また関東中央病院の神経精神科にて研修を行う。その後、プレイセラピーについて勉強をするため渡米。全米一のプレイセラピープログラムのある University of North Texas にて、子ども中心プレイセラピーの大家である Dr. Garry Landreth のもとで学び博士課程を終了する。その後、大学で講師をする一方、公立小学校、個人クリニックで子どもを対象にカウンセリングを行う。またダラス日本語補習校のスクールカウンセラーも勤める。その他、2001年アメリカ同時テロ多発事件、2005年のハリケーンカトリーナの被災児への支援にもあたる。現在はカリフォルニア州サンディエゴにて子どもとその家族のカウンセリングを行う一方で、専門家の養成にも力を入れている。近年里子里親支援にも参加。University of California San Diego, Extension Program プレイセラピーコース講師。臨床心理士、LPCS (Licensed Professional Counselor Supervisor), RPT-S (Registered Play Therapist Supervisor), MFTI (Marriage & Family Therapist Intern)

### 【お申し込み・お問い合わせ】

\* 日本プレイセラピー協会ホームページからのお申し込み、お問い合わせとなります。

協会ホームページ: <http://www.ja4pt.org/>

メール( [play\\_therapy@nifty.com](mailto:play_therapy@nifty.com) )、または、メールをお持ちでない方は、FAX 042 - 759 - 6199 (青山学院大学学生相談センター内日本プレイセラピー協会事務局)でも、以下の項目をご記入いただけましたら、お申し込みをお受けできます。(必要記入事項: お名前、ふりがな、性別、連絡先住所、電話、FAX、メールアドレス、所属、職種、心理臨床経験年数、プレイセラピー臨床経験年数、卒業大学院名と専攻、お申し込みプログラム名、研修証明書発行の希望の旨、臨床心理士の方は臨床心理士番号、当研修会をお知りになったきっかけについて)

\* お申し込み内容送付後、こちらから参加費振り込み口座をお知らせいたしますので、追ってご入金をお願いいたします。ご入金をもって正式受付となりますので、正式受理書類をお送りいたします。

\* ご入力のメールアドレスにお間違いがありますと、こちらからのご連絡ができなくなりますので、ご注意ください。

\* お申し込み後、事務局より振込口座のお知らせ、入金後の正式受理通知などが、しばらくお待ちいただいても、お手元に届かない場合には、通信障害や郵送事故の可能性がございますので、お手数ですが、事務局までお問い合わせください。よろしくお願いいたします。

\* ご入金後のキャンセル、返金はいたしかねます。ご了承ください。

締め切り: 2011年2月25日(金) 先着にて受付 (定員になり次第、締切日前でも締め切りとさせていただきますので、

予めご了承ください。定員空き状況はホームページにてご確認ください。)

## 【研修証明書発行】

\*本講座は、米国プレイセラピー協会において認定された講師による、認定証明書発行対象のプログラムとなっております。(APT approved provider: 08 - 225)

ご希望の方には、米国プレイセラピー協会の研修証明書を発行することができます。認定プレイセラピストの資格を取得する際に必要研修時間として認められます。発行手数料は 3000 円です。申込時に、要・不要を記入し、要の方はお振込み金額合計に 3000 円をご加算ください。

\*臨床心理士ポイント申請予定です。

主催：日本プレイセラピー協会 <http://www.ja4pt.org>

共催：ドクター大野木サイコセラピー・カウンセリングクリニック

代表：湯野貴子（ファミリーメンタルクリニックまつたに）      事務局長：葛生聡（青山学院大学）

理事：大野木嗣子（Psy.D.、ドクター大野木サイコセラピー・カウンセリングクリニック）